

2・3年保育 4歳児

〇〇〇〇組 〇色 在籍 男児〇名 女児〇名 計〇名 指導者 〇〇 〇〇

1 最近の幼児の姿（ 〇月）

《遊びの様子》

- 2学期に入ってから、水・土に触れての遊びを楽しみ、友達と思いきり体を動かしながら遊んだ。年長児がしている遊びに興味を示し、同じ遊び場で遊んだり、まねしたりして遊ぶ姿が見られた。少しずつ、教師が手伝わなくても自分たちで遊びを始めることができるようになっており、遊び場を自分たちなりに楽しみながら作り、そこに道具や用具を運び込んで、友達と集まって遊んでいる。
- ごっこ遊びを好み、自分が好きなもの（ネコ・お姫様・ヒーローなど）になりきって、動いたり、表現したりし、同じような遊びを好む友達と一緒に楽しんでいる。ごっこ遊びに必要なものを作り、身につけたり、持ったりして、なりきったままで保育室の外に出て、いろいろな場所で教師や友達に見せるなど、保育室と園庭の遊びにつながりが見られるようになっている。
- 園外保育で木の実や落ち葉を拾いに行き、木の実・落ち葉にたくさん触れる時間をとったことで、秋を身近に感じることができた。そこで、大きさ・形・色・重さなど、木の実・落ち葉の特徴を自分なりに捉え、虫やアクセサリーを作って楽しんだ。作ったものを保育室のコーナーに置いておくことで、実際に手にとって動かしたり、友達と見比べたりして、作ったものを使って友達と一緒に遊んだ。

《人とのかかわり》

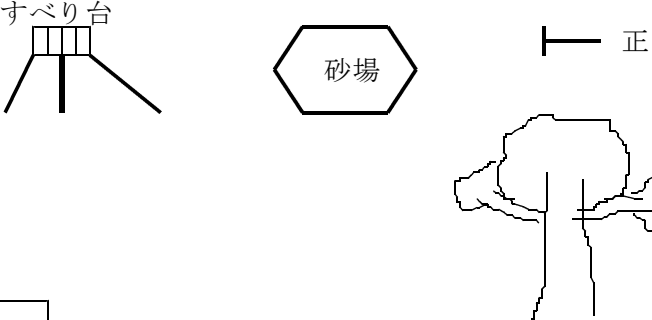
- 進級児〇名、新入園児〇名という人数構成であり、4月当初は、遊びに対する経験や友達に対するかかわり方に差があるため、進級児と入園児が入り混じって遊ぶことは少なかった。2学期に入り、運動会などを経験したことで仲間意識が芽生え、同じような遊びをした。また、グループ活動やクラス全体でする遊びや活動を多く取り入れたことで、これまで気付かなかった友達のよさや頑張りに気付き、友達と同じような遊びをすることで、心地よさを感じたりしている。
- いろいろな遊びに興味はあるが、好きな遊びが見つからず、遊びが長く続かない幼児がいる。友達が遊んでいる様子を近くでじっと眺めたり、誰かが誘ってくれるのをずっと待っていたりする幼児も見られてる。
- 幼児が好きな遊びをするために、幼児が興味をもっている遊び場作りを通して、自分がしたい遊びを見つけ、自己発揮しながらじっくりと友達とかかわりながら遊んで欲しい。

今週のねらい・内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 秋の自然に触れ、木の実・落ち葉を使つての遊びを楽しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 木の実・落ち葉を使つて遊ぶ。 ・ 秋の自然物の特徴（大きさ・色・重さ・種類など）を自分なりに捉えて遊ぶ。 ・ 木の実・落ち葉を使つて製作する。 ○ 自分がしたい遊びを楽しむために、自分なりに考えて行動し、友達とかかわつて遊ぼうとする。自分の気持ちを友達に伝えたり、友達の気持ちに気付いたりする。 			
物的環境	<ul style="list-style-type: none"> ○ 遊びがスムーズにできるように、事前に幼児と一緒に素材や道具を分別しておく。 ○ 製作で木の実・落ち葉を使つてみたり、保育室に秋をイメージするコーナーを作つたりして、木の実・落ち葉を身近に感じることができるようにする。 			
援助と配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 木の実・落ち葉に触れる時間を多くし、特徴や感触を幼児なりに捉えることができるようにする。 ○ 他の幼児が遊んでいる場を見に行かせ、どんな遊びをしているのかを知らせていく。 ○ 新しい考えを生み出した喜びや楽しさを味わつたり、自分から考えようとしたりする姿を認めていくようにする。 ○ 製作に必要な道具の扱い方を説明するなど、安全面には十分に配慮する。 			
日	15日(月)	16日(火)	17日(水)	
幼児の活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ ドングリ滑り台 ○ 服作り ○ 秋のコーナー作り 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 服・アクセサリ作り ○ ドングリレストラン ○ 木の実・落ち葉を拾いに行く。(○○公園) ○ 木の実・落ち葉を分別する。 		
絵本	どんぐりみ～つけた	もりのなか	もりのおやくそく	
反省・考察	<ul style="list-style-type: none"> ○ ドングリの数を増やすことでドングリ滑り台の出口まで転がる確率が上がることに気づいたA児が休日にドングリ拾いに行つて、ドングリをたくさん拾ってきた。意欲につながっている。 ● 数人でサララップの芯や牛乳パックをガムテープでつなげて、滑り台を長くしようとしていた。しかし、幼児だけでガムテープを扱うことが難しかった。幼児だけでガムテープを扱うことができるよう考えたい。 □ M児が保育室にある木の枝に作つたミノムシをつけ、「木さん、うれしそう！」とつぶやくと、周りで聞いていた幼児が「バツタさんもいるもんね」と言つて、先日作つたバツタを持ってきて、木の側に置いた。木の気持ちになつてのつぶやきだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 服・アクセサリ作りを使う木の実・落ち葉が少ないことに気づいた幼児。先日行つた「○○公園に行きたい」と幼児から提案があり、○○公園へ行くことにした。持ち帰つた木の実・落ち葉を使つた遊びをして楽しんだ。自分で拾ってきたものなので、宝箱に入れて保管したり、早速服やアクセサリを作つたりして大切に扱おうとする姿が多く見られた。 ○ 拾つてきた木の実・落ち葉は幼児に分別させている。そのため、どんな素材がどこにあるのかを幼児が把握し、材料を選ぶことができてきている。 ☆ 木の実や落ち葉で服を作るだけで満足している。作つた服を着て、ごっこ遊びをしたり、友達と見せ合つたりして、その後の遊びにつなげてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ A児が作つた落ち葉の冠を見て、これまで新聞だけで服を作つていた幼児が、作つた服に葉やドングリをつけ始めた。「すてきな服だね」と言葉をかけると、「うん」と満足そうにしていた。もっと、秋の自然にふれて遊んでほしいので、保育室に木の実・落ち葉で作つた服を置いておきたい。 □ ドングリと水とカップを使つて、ドングリレストランをしている。素材はこれだけなので、出来上がりは同じようなものに見えるが、幼児の間では、「これはドングリジュース」「ドングリプリンはいりませんか？」などと共通認識しているようだ。 ☆ ドングリ滑り台で大量のドングリを転がし、それを見て楽しむT児。長く転がすことよりも、たくさんドングリを転がすことを楽しんでいる。 	

○援助がうまくいったところ ●援助がうまくいかなかったところ □その他の反省・考察 ☆抽出児

本日の展開 ○歳児 ○○○組 (○色帽子) ○月○日 (○)

ねら	○ 木の実・落ち葉を使って、自分がしたい遊びを楽しむ。 ○ 友達の話を聞いたり、自分の気持ちを言葉で伝えたりして、友達とかかわって遊ぼうとする。
内容	・ ドングリを転がしたり、落ち葉を飾りにしたりして遊ぶ。 ・ ドングリレストランをして、友達とかかわりながら遊ぶ。

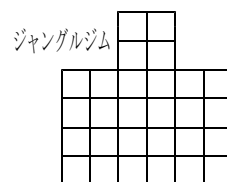
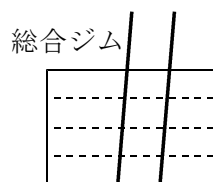
時間	一日の生活の流れ	予想される幼児の姿：本日までの遊びの様子と教師の願い
9:30	○登園する。 ・あいさつをする。 ・荷物の整理をする。 ○シール貼りをする。 ・排泄をすませる。 ○好きな遊びをする。	
11:15	○片付けをする。 ・手洗いをする。 ・お茶を飲む。 ・排泄をすませる。 ・うがいをする。 ○集まりをする。 ・手遊びをする。 ・名前呼びをする。 ・絵本を見る。	職員室
11:30	○弁当の準備をする。 ○弁当を食べる。 ○歯磨きをする。	園長室 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">ドングリレストラン</p> <p>ドングリを水に浸してジュースにしたり、カップに盛ってご飯にしたりして、食べ物に見立てて遊んでいる。友達とかかわりながら遊んでほしい。</p> <p>* 遊びに必要なものを用意しておく。 T 教師がお客になるなどしながら言葉がけをし、友達とかかわりながら遊べるようにする。</p> </div>
13:00	○好きな遊びをする。 ・ドングリ滑り台をする。 ・服作りをする。 ・ドングリレストランをする。	ホール ○○○組
13:55	○片付けをする。 ・手洗いをする。 ・お茶を飲む。 ・排泄をすませる。 ・うがいをする。 ○集まりをする。 ・手遊びをする。 ・絵本を見る。	
14:15	○降園準備をする。	
14:30	○降園する。	

男児 ○名 女児 ○名 計 ○名 指導者 ○○ ○○

保育にあたって
 ○ 幼児が自分の思いを伝え合うことができるように、幼児の発言をつなげたり、拾ったりして、幼児同士がかかわり合って遊ぶことができるようにしていく。
 ○ 幼児の遊びの様子を見ながら、場所を選んだり、はさみやガムテープなどの道具や材料を幼児だけで扱うことができるように、置き方・出し方を工夫したりして、幼児がしたい遊びを存分にできるようにしておく。
 ○ 作った物を見せたり、遊んだりする場所を作り、少人数でのかかわりがもてるようにしていく。

* 物的環境 T 教師の援助

門 —



ドングリ滑り台

友達と協力しながら、ドングリ滑り台を作り、長く転がしたり、たくさん転がしたりしながら、ドングリが転がる様子を楽しんでほしい。

- * ドングリ滑り台で遊ぶ広い場所を確保する。
- * 事前に保育室でドングリ滑り台で遊んでおき、ドングリ滑り台に親しんでおく。
- * いろいろな種類のドングリをたくさん用意する。

T 幼児の発言を聞きながら、どんなイメージをもっているのか周りの幼児に知らせるようにする。

T 工夫しているところを言葉にして具体的に褒めるようにする。

T 困っているときは、「どうすればいいのかな?」と問いかけたり、みんなで考える時間を設定したりする。

鉄

棒

飼育舎

体育用具室

○○組 (保育室)

服作り

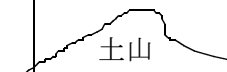
新聞紙遊びが好きで服やアクセリーなどを作って楽しんでいる。遊びに必要なものを木の実・落ち葉を使って作ろうとしたり、素材の使い方を自分で考えたりしながら遊んでほしい。

- * 服作りに使う道具・素材を用意しておく。
- * ガムテープやセロテープを幼児だけで扱うことができるように出し方を工夫する。

T 幼児がやろうとしている気持ちを大切に、周りの幼児にも頑張っている姿や工夫しているところを伝えながら、意欲をつなげていく。

T 作った物を保育室に掲示していく。

○○組



倉庫